

令和4年度 学校経営計画及び自己評価

1 めざす学校像

「人間教育をする進学校」

建学の精神「報恩感謝」を柱とした宗教的情操教育の良き伝統を堅持し、周囲の人々に支えられて生かされている自分に気づき、他者に対して感謝の心を持ち、何事に対しても前向きに取り組むことができる、そしてグローバル化する社会で活躍、貢献できる「品格と礼節」を備えた生徒を育成する。

- ① 建学の精神の涵養 — 宗教的情操教育を堅持し、我国の伝統と文化に基づく「品格と礼節」を備えた人間を育成する学校 —
- ② 安心安全な学校づくり — 生徒たちが安心して夢を実現するための準備をする安心安全な学校 —
- ③ 確かな人間力の育成 — 高い志と自主性を培うとともに生徒の進路希望を実現する学校 —
- ④ さらなる特色づくり — 各コースの特色を活かした教育内容のさらなる充実を図り、生徒・保護者に期待される学校 —

2 中期的目標

- 1 建学の精神の涵養 — 宗教的情操教育を堅持し、我国の伝統と文化に基づく「品格と礼節」を備えた人間を育成する学校 —
 - (1) 宗教行事や宗教の授業において、建学の精神を理解させる
 - (2) 日々の朝礼・終礼、講堂朝礼を徹底し、東大谷生としての自覚、感謝のこころを育む
 - (3) 花まつり、報恩講、了秀忌等の宗教行事だけでなく、すべての学校教育を通して建学の精神「報恩感謝」の念を育む
 - (4) 全教職員に対して本校の宗教的情操教育のあり方を常に確認・共有し、全教員一致して教育にあたる
- 2 安心安全な学校づくり — 生徒たちが安心して夢を実現するための準備をする安心安全な学校 —
 - (1) 防災対策・危機管理体制を整え、生徒が常に考え行動できる指導を徹底する
 - (2) 伝統の生活指導を徹底し、グローバル化する社会に必要なマナーを身につけさせる
 - (3) 教育相談体制、メンタルサポート体制を充実させるとともに、生徒の個性に応じた身体と心の健康づくりを進め、安心・安全な学校づくりを推進する
 - (4) 家庭への情報発信を密に行い、学校・家庭が一体となった教育を徹底する
 - (5) 地域の幼・小・中学校、自治会等との連携をすすめ、地域とともに生徒の成長を育む教育を推進する
- 3 確かな人間力の育成 — 高い志と自主性を培うとともに生徒の進路希望を実現する学校 —
 - (1) 生徒が主体的に学ぶことができる授業改革を進め、高い志を育むとともに、「人間教育をする進学校」という評価を定着させる
 - (2) 本校独自の取り組みである「学びの NEW STYLE」の充実と教員の授業力の向上をはかる
 - (3) グローバル化が進む社会で活躍する人間の育成のために、授業における ICT 機器の活用を図り、国際理解教育を推進する
 - (4) 教職員の授業力の向上を最重要課題とし、公開授業、研究授業のほか時機を得た適切な研修を取り入れる
 - (5) 生徒会活動・学校行事や部活動を通して、仲間とともに創造する喜びと困難を乗り越える力、リーダーシップを育む
- 4 さらなる特色づくり — 各コースの特色を活かした教育内容のさらなる充実を図り、生徒・保護者に期待される学校 —
 - (1) 大阪大谷大学との高大連携をすすめ高大一貫の教育をめざし、大学卒業までを見据えて生徒自らが意欲を持って学習できる体制を作る
 - (2) オーストラリア海外語学研修や短期長期留学制度を充実させ、積極的な国際交流を図る。豊かな語学力に裏付けられた国際感覚を育成できる体制を作る
 - (3) 外部受験において生徒が目標をかなえられるよう、教員が連携し一人ひとりの生徒にきめ細かい指導を行う体制を作る

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会における提言内容】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校協議会における提言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・教員については設問⑬以外で昨年度を上回っているが、生徒ではほぼすべての項目で下回り、保護者についてはほぼ横ばいである。学校教育が教師の自己満足に終わらぬよう生徒保護者に寄り添った指導を強化したい。 ・設問⑭(夢や目標の存在)は生徒保護者ともに昨年を3~4p 下回っており、10年未来プロジェクトをさらに強化し90%以上をめざす。 ・進路指導に関わる設問⑮⑯⑰について保護者評価はわずかに昨年より上回ったが、生徒評価がやや低く担任団と進路指導部が連携を強めよりきめ細かい指導をしていきたい。 ・設問⑱(自主的に学ぶ習慣)は生徒評価が67.6%と昨年度より低下。学校として大切な指標であり、10年未来プロジェクトを充実させ次年度は80%をめざす。また担任の協力のもと、フォーサイト手帳を効果的に活用できる生徒のさらなる増加をめざす。 ・設問⑳(行事)は生徒59.5%と低い評価となった。教師主導の行事となっていることが原因と考えられる。行事の楽しさは受験生を獲得する要因の1つであり、今後生徒会を中心に生徒が自ら企画実行し教師がサポートする形態を作り上げる必要がある。 ・設問㉑(全体としての満足度)について保護者評価はほぼ9割だが生徒評価が73%(昨年76%)である。原因の1つとして生徒の感ずる自由度の少なさがあげられる。今後ある程度の規制緩和を講ずる必要がある。学年追跡では向上(現3年生は64.8→73.0→78.2)してはいるが、やはり最終9割をめざしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケートに関して「入学してよかった」の割合が7割台、特に2年生は6割台で深刻な状況であり何らかの対策を講じる必要がある。 ・特進のBT(ベネフィシアルタイム・個別的学习サポート)は良い取り組みだ。うまく運ばばティーチング主体からコーチング主体へ進んでいこう。先生方のサポートによって今後が期待できる。 ・授業アンケート結果について、「いい授業」とは生徒が自ら取り組めるかどうかにかかっている。また協働的な学習も必要である。 ・「フォーサイト手帳」を用いて生徒が「自ら考え行動する」ことを促すのは良い。ただ、効果を得るためには、生徒任せにすることなく教員側の積極的・継続的なアドバイスが必要。ダメ出しだけでなく「こうなるために、こうすべきでは」という具体的なアドバイスが効果的である。 ・転学退学者増について全国で25万人が通信制に通う現状があり、生徒たちのモチベーションを上げる手を打つ必要がある。 ・成美会(同窓会)としては積極的に学校に協力していきたい。生徒募集にどのように関わっていきけるかしっかりと連携を取りたい。 ・保護者としてイベントの発信が弱いと感じる。ホームページ等を通じて画像や動画をもっと公開していただきたい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神の涵養	(1)宗教的情操教育による豊かな人間性の涵養 (2)伝統の継承	(1)① 宗教担当教員と担任が密に協力して、朝・終礼、講堂朝礼指導を堅持し、宗教作法を身につけさせる ② 宗教行事を通じて生徒に宗教的情操を身につけさせる ③ 生徒に宗教行事の運営に参画させる (2)① 1年生の行事として、東本願寺参拝を組み込み、東大谷高校のルーツを体得させる ② 同窓会と連携し、文化祭等で本校の歴史を実感させる展示を行う	(1)①管理職による点検 ②生徒感想文集「聞思」 ①②生徒評価(90%) 保護者評価(90%) 教員評価(95%) ③参画実績 (2)①実施実績 ②実施実績	(1)①講堂朝礼をコロナ禍以前の形で実施。教室での朝終礼は管理職、学年主任、宗教主任が適宜見回りを行い厳粛に実施している。評価は生徒 84.2%保護者 92.2%教員 91.0% (○) ②「聞思」から、宗教行事での法話に多くの生徒が命の大切さや自分の存在に新たな気づきを得ていることが確認できる。(○) ③講堂朝礼に多くの生徒が導唱・伴奏に参画、教室朝礼では例年通り聖典読誦に参画 (○) (2)①1年生は4月、コロナで延期した3年生は6月に、2年生は11月に本山参拝を実施 (○) ②コロナへの配慮から文化祭は生徒のみでの実施となり、同窓会との交流はかなわず (×)
2 安心安全な学校づくり	(1)日常から安心安全に対する意識を持たせる (2)自律的生活習慣の確立 (3)マナー指導、しつけ教育の徹底	(1)① 防災マニュアル・危機管理マニュアルを見直す中で全教職員で再認識し、防災危機管理意識をさらに高める。 ②保護者に学校情報を伝えるために、家庭との緊密な連絡体制を持続し、ホームページの充実を図る (2)①安全に対する意識の向上を図るため、防災避難訓練やSNS利用についての講演会を実施する。特に今後ICTを多用するために情報モラル教育の推進を図る ②メンタルサポート体制を強化 (3)社会人としてのマナーを身につけさせるために登下校指導、服装指導等、生活指導部を中心に全教職員で取り組む	(1)①教員評価(80%) ②保護者評価(90%) (2)①生徒評価(90%) 生徒感想文 ②生徒評価(90%) (3)生徒評価(95%)	(1)①安全対策に対する教員評価86.6%(○) ②コロナ禍の下ホームページやフェアキャストを利用して学校情報開示に努め、保護者からも評価(90.5%)を受けており家庭との連携は十分に取れている(○) (2)①生徒評価(安全)85.6% 今年度生徒全員がクロームブックを所持しており折に触れて情報モラル意識を高める指導を行った(△) ②生徒評価77.1% コロナの影響で不安も持つ生徒が多く対応できなかった感がある。引き続きカウンセラーや保健室と学年団との連携を図り生徒のサポートに努める(△) (3)登下校時の指導は継続、折に触れ社会人としてのマナーの徹底を促す。生徒評価94.2%とほぼ目標値を達成(○)
3 確かな人間力の育成	(1)「学びのNEW STYLE」の推進 (2)主体的な学習態度の育成 (3)リーダーシップの育成	(1)「10年未来プロジェクト」により自身の将来像を描かせ、「探究ゼミナール」により自身の興味を具体化させることで主体的協働的な学びを体感させ、学ぶことの楽しさを教え、学ぶ意欲を育む (2)フォーサイト手帳を導入し、生徒のPDCA活用力を養うことで自主学習能力を高める (3)①生徒会活動・部活動のさらなる活性化・効率化を図る ②部活動では地域の小中学校や住民との交流を通じてリーダーシップを育み競技に対する意識の変革をもたらす ③ボランティア活動を通じて社会に貢献する	(1)生徒評価自主学習(80%) 「探究ゼミナール」 プレゼンテーション生徒感想 (2)生徒評価(70%) (3)①部活動生徒評価(80%) 生徒会活動実績 ②活動実績 ③活動実績	(1)コロナ禍の影響によりプレゼンテーションは実施できず。生徒評価3年生は76.8%であったが全体では67.6%(×) (2)フォーサイト手帳の活用状況と成績には良い相関があり、積極的に活用している生徒には自主的に学習に取り組む姿勢が見られるが生徒評価67.6%と目標に届かず。次年度さらに活用を奨励し改善をめざす(△) (3)①活動実績はバトン部の全国大会1位を筆頭に着実に伸びているが、コロナによる行動制限は続いたため生徒評価は71.2%と改善は見られるものの目標には届かず。(△) ②みはらふるさとまつりへの参加、三原文化祭へ書道・美術部が参加。地域住民からの評価も高い(○) ③地域のボランティア活動等は中止が多く参加は叶わず(×)
4 さらなる特色づくり	(1)大谷学園の強みを活かした進路指導 (2)各コースでの特色をさらに充実させる	(1)大阪大谷大学との教員交流を推進し高大連携を強化し、内部進学者数の増加に努める (2)①進学コースでは、高大一貫教育システムとして薬剤師育成プログラム、教員育成プログラムの内容充実を図る。 ②国際コースでは、長期・短期留学制度を充実させるとともに、英検2級以上取得をめざす。 ③特進コースでは、綿密な3年間の指導計画を構築し、国公立15名、関関同立60名の進路希望を実現する ④入試説明会等来校の機会を多く設け、本校の認知度をあげ、多くの情報を受験生保護者に発信する	(1)管理職による点検 (2)①実施状況 ②留学生数25名 資格試験実績 ③合格実績 ④入試説明会アンケート 中学校や塾からの意見 志願者数800名 入学者数300名	(1)高大連携プログラムを通じて大学教員との連携は深まった。次年度はさらに相互理解を深め学内推薦者数の増加をめざす(○) (2)①薬剤師育成1年29名、2年19名、3年7名教員育成1年24名、2年18名、3年1名と順調に推移。今年度配置した専属担当者のサポートも良好(○) ②3年ぶりに実施したNZ留学(3ヶ月のみ)は1年生9名、2年生17名の参加があった。英検は3年生33名中準1級1名、2級17名取得(○) ③生徒数が3割減となる中、現役で国公立13名、関関同立58名とほぼ目標値を達成した。(○) ④今年度は人数制限のもとオープンキャンパス・入試説明会の回数を倍増し参加者確保に努めたが、在校生の健康に配慮して中学生との交流は最小限にとどめざるを得なかった。志願者660名、入学者282名と募集定員には達したものの目標には届かず(△)

令和4年度学校評価アンケート結果

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
生徒	1年生	84.2%	89.3%	83.6%	83.2%	92.0%	92.7%	92.4%	79.0%	63.0%	95.4%	93.1%	85.5%	66.8%	77.9%	76.7%
	①	41.6%	55.3%	45.8%	50.4%	54.6%	45.4%	50.4%	28.2%	24.8%	66.0%	63.7%	42.4%	33.2%	31.3%	29.4%
	②	42.5%	34.0%	37.8%	32.8%	37.4%	47.3%	42.0%	50.8%	38.2%	29.4%	29.4%	43.1%	33.6%	46.6%	47.3%
	③	7.6%	7.6%	14.5%	11.8%	5.7%	6.1%	7.3%	16.0%	27.1%	3.4%	5.3%	9.9%	19.8%	14.9%	14.9%
	④	3.4%	3.1%	1.9%	5.0%	2.3%	1.1%	0.4%	5.0%	9.9%	1.1%	1.5%	4.6%	13.4%	7.3%	8.4%
	2年生	80.7%	88.9%	85.1%	80.4%	84.5%	76.7%	75.7%	70.6%	64.9%	93.9%	89.5%	70.9%	58.1%	68.6%	66.2%
	①	32.8%	47.3%	41.2%	45.9%	44.9%	28.4%	30.4%	18.6%	26.4%	53.4%	51.0%	30.7%	20.3%	24.7%	23.6%
	②	48.0%	41.6%	43.9%	34.5%	39.5%	48.3%	45.3%	52.0%	38.5%	40.5%	38.5%	40.2%	37.8%	43.9%	42.6%
	③	12.2%	9.8%	11.1%	14.5%	12.2%	18.2%	18.2%	22.0%	24.0%	3.4%	7.1%	19.9%	22.3%	19.9%	20.3%
	④	7.1%	1.4%	3.7%	5.1%	3.4%	5.1%	6.1%	7.4%	11.1%	2.7%	3.4%	9.1%	19.6%	11.5%	13.5%
	3年生	83.2%	89.1%	88.6%	87.3%	84.3%	76.4%	80.5%	75.0%	76.8%	93.2%	87.7%	75.5%	52.7%	66.8%	78.2%
	①	46.4%	58.2%	46.8%	51.8%	47.9%	37.7%	40.0%	30.5%	38.2%	54.1%	49.1%	37.7%	24.1%	25.9%	32.7%
②	36.8%	30.9%	41.8%	35.5%	36.4%	38.6%	40.5%	44.5%	38.6%	39.1%	38.6%	37.7%	28.6%	40.9%	45.5%	
③	8.6%	8.2%	10.0%	10.5%	10.6%	16.4%	15.9%	15.0%	14.5%	4.5%	5.9%	12.7%	26.4%	21.8%	15.0%	
④	8.2%	2.7%	1.4%	2.3%	5.1%	7.3%	3.6%	10.0%	8.6%	2.3%	6.4%	11.8%	20.9%	11.4%	6.8%	
保護者	1年生	94.5%	91.4%	93.1%	72.4%	86.6%	81.4%	80.0%	71.4%	52.1%	80.7%	93.1%	81.6%	69.3%	71.1%	92.2%
	①	47.2%	43.2%	39.4%	34.4%	36.4%	33.6%	28.2%	14.7%	18.9%	28.0%	39.6%	26.7%	22.9%	20.2%	44.2%
	②	47.2%	48.2%	53.7%	38.0%	50.2%	47.7%	51.8%	56.7%	33.2%	52.8%	53.5%	54.8%	46.3%	50.9%	47.9%
	③	5.0%	7.7%	5.0%	24.0%	11.1%	16.8%	17.3%	24.4%	34.1%	17.0%	6.0%	14.7%	23.9%	22.0%	6.9%
	④	0.5%	0.9%	1.8%	3.6%	2.3%	1.8%	2.7%	4.1%	13.8%	2.3%	0.9%	3.7%	6.9%	6.9%	0.9%
	2年生	90.0%	79.7%	86.0%	75.3%	79.2%	75.4%	73.4%	65.5%	50.7%	75.5%	83.3%	71.2%	60.4%	60.0%	82.1%
	①	45.2%	34.2%	34.7%	32.3%	34.8%	25.0%	24.3%	9.1%	18.8%	25.0%	30.3%	21.0%	19.4%	17.3%	37.2%
	②	44.8%	45.5%	51.4%	43.0%	44.3%	50.4%	49.1%	56.4%	31.8%	50.5%	52.9%	50.2%	41.0%	42.7%	44.8%
	③	8.1%	17.1%	11.3%	19.7%	18.1%	18.3%	19.8%	27.7%	35.9%	21.8%	14.9%	21.9%	32.3%	29.5%	16.1%
	④	1.8%	3.2%	2.7%	4.9%	2.7%	6.3%	6.8%	6.8%	13.5%	2.7%	1.8%	6.8%	7.4%	10.5%	1.8%
	3年生	91.9%	87.3%	92.9%	85.5%	90.0%	81.8%	81.9%	74.9%	64.5%	84.2%	87.8%	78.1%	65.1%	63.4%	91.9%
	①	44.5%	34.1%	41.4%	46.5%	46.5%	42.4%	38.0%	24.6%	33.1%	35.7%	37.2%	35.5%	22.7%	21.5%	56.1%
②	47.4%	53.2%	51.5%	39.0%	43.5%	39.4%	43.9%	50.3%	31.4%	48.5%	50.6%	42.6%	42.4%	41.9%	35.8%	
③	6.4%	11.6%	7.1%	12.8%	7.6%	15.3%	14.6%	21.0%	23.8%	14.6%	9.3%	17.8%	25.6%	30.8%	6.4%	
④	1.7%	1.2%	0.0%	1.7%	2.4%	2.9%	3.5%	4.2%	11.6%	1.2%	2.9%	4.1%	9.3%	5.8%	1.7%	
教員		91.0%	85.1%	86.6%		88.1%	86.6%	86.6%	92.5%	62.7%	86.6%	95.5%	94.0%	68.7%	82.1%	89.6%
	①	59.7%	50.7%	49.3%		41.8%	41.8%	43.3%	41.8%	29.9%	47.8%	31.3%	44.8%	32.8%	46.3%	37.3%
	②	31.3%	34.3%	37.3%		46.3%	44.8%	43.3%	50.7%	32.8%	38.8%	64.2%	49.3%	35.8%	35.8%	52.2%
	③	9.0%	9.0%	7.5%		6.0%	10.4%	11.9%	7.5%	29.9%	10.4%	3.0%	4.5%	28.4%	11.9%	10.4%
④	0.0%	6.0%	6.0%		6.0%	3.0%	1.5%	0.0%	7.5%	3.0%	1.5%	1.5%	3.0%	6.0%	0.0%	

No.	設問概要
1	建学の精神に基づく教育
2	情報公開の適切さ
3	危機管理と安全対策
4	夢や目標の存在
5	進路希望に応じた科目選択
6	きめ細やかな進路指導
7	進路情報の提供
8	授業のわかりやすさ
9	自ら学ぶ習慣
10	基本的な生活習慣
11	好ましい人間関係
12	生徒の悩みや問題への対応
13	学校行事について
14	部活動の活発さ
15	全体的な学校満足度

- ① そう思う
- ② どちらかと言えばそう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ そう思わない

肯定的評価(①・②計)比較

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全生徒	84.2%	89.1%	85.6%	83.3%	87.0%	82.0%	82.6%	74.7%	67.6%	94.2%	90.2%	77.1%	59.5%	71.2%	73.1%
全保護者	92.2%	86.0%	90.5%	77.1%	84.9%	79.3%	78.1%	70.2%	55.1%	79.8%	88.0%	76.9%	64.9%	64.9%	88.4%
教員	91.0%	85.1%	86.6%		88.1%	86.6%	86.6%	92.5%	62.7%	86.6%	95.5%	94.0%	68.7%	82.1%	89.6%